

# Business Report

# ごあいさつ

Top Message

## アステリアは、システム、ヒト、モノ、 そしてオモイを未来へ「つなぐ」企業として これからも成長を続けてまいります。

本年、台風や豪雨などにより被災された皆様ならびにご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

アステリアグループの事業は、「ソフトウェアで世界をつなぐ」をコンセプトに、情報システムをはじめとする「つなぐ」ためのソフトウェア、および企業がお客様とつながる接点であるユーザーインターフェイスのデザインを開発し、お客様に提供しております。

当第2四半期(中間期)におきましては、主力製品である「ASTERIA Warp」、「Handbook」の販売が堅調に推移した結果、エンタープライズとネットサービスの2つのビジネスユニットについては増収となりました。一方で、デザインサービスビジネスユニットは、重要な顧客2社の経営に関わる問題により、当社の関与するプロジェクトの大幅な遅延が生じたため、著しい減収となりました。結果として、エンタープライズ、ネットサービスは成長したもののデザインサービスの減収をカバーすることができず、全体としても前年同期比で減収となりました。利益につきましては、デザインビジネスユニットの人件費削減等の経営合理化によるコストの削減により、営業利益、四半期利益および親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比で増益となりました。

これらの結果、当第2四半期は次ページのグラフで示すような業績となり、また、デザインサービスについては通期でのリカバリーが間に合わないと判断し、2019年5月に発表した通期連結業績予想につきましても修正をさせていただきました。

今後については、デザインサービスの落ち込みは一時的なものとして分析しており、当社の事業投資戦略である「4D」(Data, Device, Decentralized, Design)は変更なく推進し、将来の大きな成長を実現していく計画です。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業へのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 / CEO 平野 洋一郎

# 財務ハイライト

Financial Highlights

当第2四半期でも中核製品であるASTERIA Warpのサブスク版である「Core」は、前年同期比2倍超と大きく成長しました。また、Gravioは新バージョンをリリースし、Handbookも最新テクノロジーを営業力強化につなげる「Sales Tech」などの業界のトレンドもあり販売は増加しております。デザインサービスのプロジェクト遅延によって減収とはなりませんが、コスト削減などの施策により、営業利益、当第2四半期利益および親会社の所有者に帰属する四半期利益は増益となりました。





時岡 真理子

East Meet East Inc. Founder &amp; CEO

平野 洋一郎

アステリア代表取締役社長 / CEO

### — アステリアとの出会いについて

**時岡真理子(以下:時岡)**: アステリアとの出会い、平野社長との出会いはEast Meet East社(本社:米国ニューヨーク市)の共同創業者の江島健太郎さんが、もともとアステリアの社員だったことがきっかけです。

平野社長については創業から東証1部上場までアステリアを大きくさせてきた素晴らしい事業家の方であるということや、新しいテクノロジーに果敢にチャレンジされている会社であること、海外子会社にも力をいれているというイメージを持っていました。

**平野洋一郎(以下:平野)**: 当社も創業から世界を目指していて、時岡さんが英国や米国でシリアルアントレプレナーとして活躍さ

れていることは素晴らしいことだと注目していました。以前から女性活躍ということに対する意識はありましたが、会社の将来や戦略も含めて女性の考え方を取り入れたり、女性も自信ややりがいを持って仕事ができるような環境もつくりたいと考えていました。

**時岡**: 私自身、このお話をいただく前にも小池百合子東京都知事が推進されている女性起業家支援プロジェクトで講師をするなど、女性支援という側面で携わってきましたので、素晴らしい機会だと考え、お引き受けしました。また、アメリカでコンピューターサイエンスを専攻し、ソフトウェア会社で開発から製品マーケティングと営業など、さまざまな角度から経験してきました。その中にはアステリアのつなぐツールと同類のものも担当したことがあっ

たので、フィットするところがあると感じました。

**平野**: 東証1部上場企業として女性の取締役の起用が求められていますが、時岡さんは女性であることだけでなく、ソフトウェアについての経験が深いこと、それから海外の知見、経験を豊富にお持ちだということ、さらにシリアルアントレプレナーとして挑戦を続ける姿勢をお持ちだということ、この3つが当社にピッタリだということで依頼しました。

### — 日本のESG、LGBTなどの取り組みについて

**時岡**: やはり日本はまだ海外と比べるとESGやダイバーシティ(多様性)が遅れていると感じています。私はオックスフォードでMBAを取得した後イギリスで起業したのですが、その頃からEUでは女性社外取締役の活用は大きなテーマでした。日本はまだそこまで進んでいませんが、制度で必須になれば変わっていくと思います。

**平野**: 私はアステリアを起業する前は外資系の企業に勤めていました。その会社はLGBTについて早くから取り組みを始めていて、ウォール・ストリート・ジャーナルで記事に取り上げられるような会社でした。そういう中で仕事をしていると、それ自体特殊なことではなくてきて、とてもリスペクトされているマネージャーや優秀なエンジニアの方が窮屈に感じるものがなくなり、まるで世界が広がったようでした。この会社を始めたときも、それを普通にしたかったのです。

女性活用についても、前職では、副社長から一般の社員にいたるまで広く女性が活躍していました。日本はそういうところで遅れていたの、どなたでも活躍できるようにしていきたい。当社は社員のうち4割くらいは女性ですが、これからさらにマネジメント層にも広げていきたいと考えています。

**時岡**: ソフトウェアの会社で4割というのは素晴らしいですね。実は私が代表を務めているEast Meet East社でもLGBTの社員の割合が30%ありまして、転職されてくるときにお話を聞くと、平野社長のお話にもあったように職場で窮屈さを感じていて、とても優秀な方に入社していただくときも、社内の風土が合ったからと言っていただいたこともありました。競争力という意味でも優位

性が高い仕組みになっていると思います。

海外では、ダイバーシティ&インクルージョンという言い方をします。ダイバーシティは多様性という意味で、インクルージョンは包摂性です。マイノリティである方もモチベーションを持って活躍できるような、インクルーシブな場、仕組みをつくるというのはすごく重要なことで、これからアステリアで、女性活躍推進をはじめとして、ぜひ貢献させていただければと考えております。

**平野：**ぜひ一緒に推進をしていきましょう。

#### —— アステリアのガバナンス体制について

**時岡：**アステリアの社外取締役は一人が女性、一人が外国籍の方です。平野社長の思いが実際の取締役の構成にあらわれています。また、最初にボードミーティングに参加したときに平野社長から「どんどん発言して、議論を活発にさせていきたいので、ご意見をお願いします」とおっしゃっていただいたのが印象的でした。やはり、社外取締役を名前だけでなく、さまざまな意見を取り入れてガバナンスに作用させていくという本来の目的を持ってこの体制をつくっている。それは素晴らしいところだと感じました。

実際に取り上げた議論では台湾Gorilla社の資本提携の話などもあり、私自身ベンチャー企業を2社立ち上げた経験から資本政策についてコメントしたり、ソフトウェアについても他社の事例を紹介したりするなど、少しでも社外の視点を取り入れられるよう心が



けています。

**平野：**アステリアは創業のときからずっと最低2名の社外取締役を置いています。それはコーポレート・ガバナンスとしてという点では当然ですが、実はもう一つ効果があるんです。我々はソフトウェアを開発して世に問うていくわけですが、どうしても技術先行なので、自分たちは理解できるけど、世の中では理解できない、そしてその理解できないことに私たちが気がつかない、ということもあります。社外の人に話を聞いていただいたときに、世の中に出たらこういう反応が起きるんだという、予行演習ができるので、自分たちの考えや計画をもブラッシュアップしていける。ガバナンス体制のよくあるケースで、同じ業界の方に参加してもらうこともありますが、当社は割と業界外の方にも来ていただいて、世の中の反応ってどういうものがあるか、話を聞いてブラッシュアップしていますし、意見をいただく場としても非常に貴重だと考えています。

**時岡：**今の社外取締役のメンバーからの意見については、ご満足されていますか？

**平野：**満足はしていますが、もっともっと意見を言っていたいただいてもよいと思います。先ほどダイバーシティの話もありましたが、社外取締役のダイバーシティも気にしていて、元金融庁長官の五味廣文さんと、ベンチャーキャピタルのアニス・ウヅマンさん、そして時岡さん。かなり立場の違う、経験も違う方に来ていただいているので、どんどんご意見いただければと考えています。

#### —— アステリアの今後の拡大・成長について

**時岡：**アステリアの素晴らしいところは、新しいテクノロジーに先見性を持って取り組まれている点です。ブロックチェーンやPlatioなどの製品もそうですし、Gorilla社と資本提携してAIを製品に取り込むなど、新しい領域に取り組まれています。これをいかに事業のキャッシュ・フローの本軸にしていくか。見つけた卵をいかに大きくしていくか。しかもアステリアの特徴的なところは、日本市場とともに、同時にグローバルレベルでの視点を持っているので、海外や新規事業の育成についても期待をしています。

**平野：**成長には私達だけの思いではなく、市場の成長というのが非常に重要なポイントになります。日本の市場ももちろん小さく



はありませんが、大きく成長しているのはやはり海外です。ここに対して私達は本当に役立つ製品を提供していきたい。また、扱うソフトウェアも最新技術、先端技術の伸びしろは大きいです。今すでに大きい市場になっている分野をさらに伸ばしていくよりは、新しい分野をさらに伸ばしていく。AIとかIoTというところを私達は率先して手掛けていき伸ばしていく。どんどん新しいチャレンジをしていく。そのために社外取締役も、メンバーも本当に多様性に富む人たちが構成して、これからさらに大きくスケールしていくことを考えています。

**時岡：**独自のテクノロジーはリスクがありますが、平野社長は創業から東証1部上場になるほどアステリアを大きくしてきました。ステークホルダーの皆様には、短期的ではなく、長期的な目線で見たいいただきたいという思いが私にもあります。

**平野：**どうしても新しい技術についてはリスクもあります。全てがうまくいくわけではありませんが、考えたものを中長期的に育てて大きくしていく。目の前のことももちろん大事ですが、それに加えて常に先のことを考えています。株主の皆様にはご説明をして、ご理解いただいて、そして中長期的にご指導ご支援いただければと考えています。

**時岡：**米国のシリコンバレーでも大きく成長する会社は、継続的な安定成長ではなく、非断続的な成長をしているので、この大きな成長を私もご支援させていただければと思います。

**平野：**ありがとうございます。一緒にジャンプアップをしていきましょう。



今回の対談の動画をウェブで配信中です。

[https://www.asteria.com/jp/news/newstotics/2019/12/07\\_01.php](https://www.asteria.com/jp/news/newstotics/2019/12/07_01.php)

戦略的業務提携&資本提携

AI技術の普及に向け、台湾AI技術最大手のGorilla社の筆頭株主へ

アステリアはGorilla Technology Inc.(本社：台湾・台北市、CEO：Dr. Spincer Koh、以下 Gorilla)とAIを利用した画像認識技術および製品に関する戦略的業務提携を締結し、Asteria Vision Fund Inc.を通して同社株式を100%保持する持株会社ゴリラテクノロジーグループ株式会社(以下、ゴリラグループ)の一部株式を取得し、筆頭株主になりました。

GorillaのAI製品「IVAR™」はその性能、コストパフォーマンス、使い勝手などが高く評価され、台湾の自治体警察局をはじめ、高速道路料金システム、オーストラリアの通信業者向けスマートオフィス、インドネシアの大規模小売店舗におけるスマートリテールなど多数の導入実績があります。

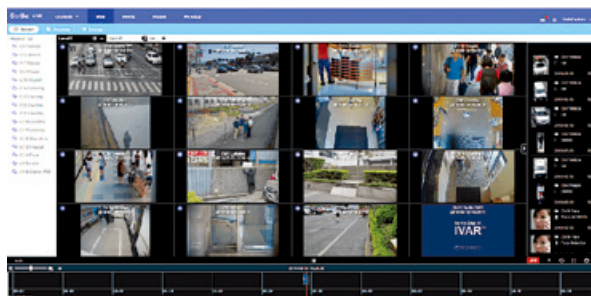
Gravioを使ったIoTソリューションを極めて高い正確性を必要とする領域に適用する場合においてGorillaの「IVAR™」は最適で、Gorillaにとっても日本市場におけるアステリアの持つ市場規模や成熟したチャンネルビジネスにおける経験は大きな魅力でした。

製品面においても、両社ともにエッジコンピューティングを中心としたシステム設計を行っていることが相乗効果を生み、IoTとAIソリューションの複合的な需要に対して、より最適な機能を提供することを実現します。

アステリアは、すでに8,000社を超えるお客様にご導入いただいているデータ連携ミドルウェア「ASTERIA Warp」、センサーデータを簡単に収集可能な「Gravio」とGorillaの画像認識テクノロジーを組み合わせることで、個々の顧客企業に最適な形でAIをご活用いただくためのソフトウェアを提供してまいります。

また、Gorillaはアステリアの製品を同社対象市場(台湾、アメリカ、オーストラリアなど)にも展開していく計画です。これにより両社は、AIおよびIoT活用に必要なエッジコンピューティングの世界的な普及を共同で牽引していく方針です。

今回の連携により、両社が既に実績を持つAIおよびエッジコンピューティング技術を組み合わせることでそれぞれの市場で展開し、社会や企業におけるAIおよびIoTの利用シーンを格段に広げていきます。



GorillaのAI製品「IVAR™」の利用イメージ。人や顔の解析だけでなく車両などの検知および認識が可能

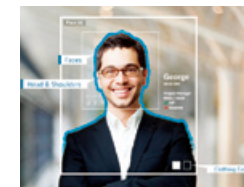
AI技術×自社開発ブロックチェーン搭載

「Gravio」新バージョン提供開始

Gravioは、極めて低価格(無償貸出センサー付きで月額500円から)で高度なエッジコンピューティングを実現できる手軽さから、現在までに約400ユーザーを獲得しています。また近年、企業におけるIoTの導入意欲はさらに高まっていることから、Gravioの使い勝手や機能を拡張しながらエッジコンピューティングの需要を喚起していく施策を進めています。

アステリアではこのような市場環境を踏まえて、Gravioの新バージョンにおいて、自社ブランドHub(Gravio搭載ハードウェア)の開発に成功。パソコン等がなくても約10cm四方のデバイスを置くだけでGravioを稼働できます。

また、Gorilla社によるAI技術を利用した顔認証や自社開発のブロックチェーンによる改ざん不可能な稼働履歴の保存などの新機能も搭載し、エッジコンピューティングの使い勝手を高めることで、普及の拡大を図ります。



エッジコンピューティングで高度な顔認証を実現

## ASTERIA Warpが 13年連続シェアNo.1を達成！

テクノ・システム・リサーチの「2019年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編」によると、2018年のEAI/ESB製品市場規模は約154億円。その中でASTERIA Warpは市場シェア46.7%(出荷数量ベース)を記録し、13年連続シェアNo.1を達成しました。この市場シェア率は2位以下の各製品が有するシェアと比較して2.5倍以上と、昨年よりもさらに開きが生じる結果となり、同分野の製品の中でより一層支持いただいていることの裏付けとなりました。

ASTERIA Warpは順調な拡大を継続しており、現在の導入社数は8,000社を突破するとともにシェアNo.1を13年連続で継続し、業界のリーディングカンパニーとしての地位をさらに強固なものにしています。今後も多様なデータソースとの連携機能を様々な業界に拡販するとともに、社会の要請に応じた機能強化を継続することで、オフィス業務の効率化・自動化を実現。さらには業務プロセスの省力化や残業時間の削減など、働き方改革の推進にも貢献していくことで、国内市場シェア50%以上(出荷数量ベース・2020年)を目標に、規模を拡大させてまいります。



導入社数  
**8,000社超**



## 温泉地での防災対策として 「温泉地ガス検知アプリ」を提供

アステリアは「企業版ふるさと納税」を通じた秋田県仙北市への寄付を継続すると同時に協定の領域をさらに広げ、Handbookを使った取り組みに加え、第2弾としてPlatioによる温泉地での防災対策に特化した「温泉地ガス検知アプリ」を提供、実証実験を行いました。

現在分湯槽に行き人力で計測している硫化水素の有毒ガス検知について、これを遠隔地でも安全にリアルタイムで監視できる仕組みとしてアプリで実現しました。

この実証実験を通して、仙北市での防災分野でのIoT活用の有効性を確認し、ICT等に関する知見や適用範囲を拡大させ、新しい地方創生の在り方を提案していきます。



「温泉地ガス検知アプリ」を導入した杉谷地分湯槽にて  
左：アステリア 平野 右：仙北市長 門脇 光浩氏

## 国内初！YouTuberによる 企業IRコンテンツの配信を開始

動画はこちら ▶



日本初の投資・経済に特化したYouTuberプロダクション「Zeppy」は、YouTubeチャンネル「Zeppy投資ちゃんねる」を立ち上げ、スタートから約2か月間でチャンネル登録者数17,000名を獲得。現在までに60番組を制作し総再生回数は60万回を超えるなど、国内有数の株式投資系YouTubeチャンネルとして急拡大を続けています。

アステリアは専門性の高い企業向けの事業を展開していることから、幅広い投資家に製品の優位性や将来性をすぐに理解していただくことが難しい側面があります。そこでより多くの投資家にアステリアの事業の将来性を理解していただけるよう、今回のコラボレーションを実現させました。今後も引き続き時流に合わせたアピールを続け、アステリアの認知拡大に取り組んでいきます。



平野とYouTuberとの対談(収録)の様子

## 会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	アステリア株式会社 Asteria Corporation (旧:インフォテリア株式会社 2018年10月より社名変更しました)
設立	1998年9月
本社	〒140-0014 東京都品川区大井一丁目47番1号 NTビル10F TEL:03-5718-1655
西日本事業所	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田二丁目4番13号 阪神産経桜橋ビル 3F TEL:06-6344-1065
資本金	22億7,534万円
事業内容	XMLを基盤としたソフトウェアプロダクト の開発・販売
従業員数(連結)	123名
海外拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Asteria Vision Fund Inc.</li> <li>● 亞思塔(杭州)信息科技有限公司 Asteria (Hangzhou) Co., Ltd.</li> <li>● 櫻枫天(上海)贸易有限公司 Infoteria China Co., Ltd.</li> <li>● Infoteria Hong Kong Limited</li> <li>● Asteria Technology Pte. Ltd.</li> <li>● This Place Limited</li> <li>● This Place Inc.</li> <li>● This Place HK Ltd.</li> </ul>

## 役員の状況 (2019年9月30日現在) ※は社外役員

代表取締役社長/CEO	平野 洋一郎
取締役副社長/最高技術責任者	北原 淑行
取締役	※ 五味 廣文
取締役	※ Anis Uzzaman
取締役	※ 時岡 真理子
常勤監査役	※ 高野 善晴
監査役	※ 赤松 万也
監査役	※ 長崎 玲
執行役員/最高財務責任者	齊藤 裕久
執行役員/中国R&Dセンター長	黄 曦
執行役員/Global COO	Dusan Hamlin
執行役員/エンタープライズ本部長	熊谷 晋

## 株式情報 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	44,600,000株
発行済株式の総数	17,491,265株 (自己株式497,007株を含む)
株主数	10,425名

### 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
平野 洋一郎	1,860,000	10.94%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	972,700	5.72%
北原 淑行	887,577	5.22%
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	669,200	3.94%
株式会社SBI証券	559,839	3.29%
パナソニックインフォメーション システムズ株式会社	550,000	3.24%
株式会社ミロク情報サービス	528,000	3.11%
HAMLIN DUSAN ALEXANDER	433,803	2.55%
楽天証券株式会社	343,800	2.02%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	246,900	1.45%

(注) 1. 当社は自己株式497,007株を保有しておりますが、上記の表には記載していません。  
2. 持株比率は自己株式(497,007株)を控除して計算しております。

### 株式の状況 合計株主数 10,425名

自己名義株式	0.01%
金融機関	0.17%
証券会社	0.32%
外国法人等	0.50%
その他の法人	0.52%

### 所有者別分布状況



自己名義株式	2.84%
外国法人等	6.74%
その他の法人	6.92%
証券会社	7.95%

### 所有株数別分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
証券コード	3853
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
決算期日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
公告の方法	電子公告 ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 通話料無料 0120-232-711 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 通話料無料 0120-782-031
ホームページ	<a href="https://www.asteria.com/">https://www.asteria.com/</a>

### ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社ではお手続きできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## IRメルマガ、LINEメッセージ配信中

アステリアの最新のニュースやトピックス、キャンペーン情報などを、「ASTERIA IR News」としてメールで配信いたします。

メルマガ登録はこちら [https://www.asteria.com/jp/contact/mail/ir\\_entry/](https://www.asteria.com/jp/contact/mail/ir_entry/)

またアステリアが発表するプレスリリースなどを、「リリース配信通知サービス」としてLINEのメッセージで通知いたします。

LINEの  
友だち登録は  
こちら

